

建設防災

ボランティアニュース

第 47 号

24 年度初動対応訓練

平成 24 年度建設局初動対応訓練が、2 月 8 日(金)の 7 時 30 分から 12 時まで、建設局本庁及び各建設事務所・公園緑地事務所等の連携のもと実施されました。今年度は、職員の災害発生時の対応能力の向上に加え、震災対策の手引きの改訂を視野にいたした新たな取組が試行されました。

訓練には、建設局からの協力依頼により、当協会からは下表のとおり 73 名の会員が参加しました。

事務所別参加会員数()は内書

| 事務所 | 訓練参加者 | 参集訓練参加者 |
|-------|-------|---------|
| 一建班 | 5 名 | |
| 二建班 | 4 名 | |
| 三建班 | 5 名 | |
| 四建班 | 11 名 | |
| 五建班 | 6 名 | |
| 六建班 | 8 名 | (2名) |
| 西建班 | 5 名 | (1名) |
| 南東建班 | 8 名 | (3名) |
| 南西建班 | 7 名 | (4名) |
| 北南建班 | 5 名 | (2名) |
| 北北建班 | 3 名 | |
| 東部公園班 | 4 名 | |
| 西部公園班 | 2 名 | (1名) |
| 合計 | 73 名 | (13名) |

今年度の訓練のポイントは、

①参集態勢の変更

- ②ビブスの着用等による役割分担の明確化、
- ③職員の安否・参集確認、
- ④Web 会議システムの導入、デジタル MCA 無線の活用などによる情報連絡訓練の強化等でした。

情報連絡訓練は、当日午前 7 時に東京湾北部を震源とする大規模地震(マグニチュード 7.3、震度 6 弱以上)が発生し、都内で広域的な被害が発生したとの想定に基づき、7 時 30 分から徒歩による参集訓練、その後、本部運営訓練が行われました。

当日の天気は晴れでしたが、気温が 5 度前後と低いうえに風が強く厳しい条件でしたが、訓練に参加した会員は、早朝の徒歩参集訓練や被災現場点検訓練等に熱心に取り組みました。

東京を含む南関東では、今後 30 年以内にマグニチュード 7 クラスの大地震が発生する確率が 70%と試算されるなど緊迫した情勢にあり、今回のような訓練の繰り返しにより、建設局職員と当協会の会員が連携を密にすることが極めて重要であると感じました。

訓練当日に向け事前調整をされたリーダーの皆様、訓練にご参加いただいた会員の方々、そして一緒に活動していただきました事務所の皆様に感謝申し上げます。

担当理事 久保田 元久

五建班の報告

24 年度参集訓練は、協会から 6 人(阿部、萩原、林、森田、宮崎、鈴木)の会員が参加しました。

前回までの訓練では、新小岩の庁舎への集合でしたが今回は、参集場所が亀戸の仮庁舎に変わりました。

ボランティア 6 人は、徒歩、電車利用等でそれぞれ五建に向かい、10 時前には全員が集合、ただちに、応急対応体制に組み込まれました。訓練は、五建職員の緊張が漂う中、それぞれの持ち場で粛々と進行していきました。

6人は、3つの点検班(五建職員1人とボランティア2人の3人で編成)に配属され、被災地の点検、被害状況の報告に携わりました。

亀戸の庁舎の周辺は江東内部河川が縦横に走っており、橋梁をわたる機会もありました。厳しい寒気の中でしたが、新小岩とは周りの様子も変わり、新鮮な感覚のなかでのボランティア活動となりました。点検が終わり帰庁の途中、横十間川をスカイツリー方向へ向かって、2人乗りのカヌーが上っていくのが見えました。



五建班参加会員

訓練終了後は、亀戸駅近くのおいしい蕎麦屋で反省会を兼ねて昼食をとり解散しました。

五建班 阿部 博

北南建班の報告

平成 24 年度の建設局初動対応訓練は「東京湾北部を震源とする大規模地震が2月8日午前7

時 00 分に発生し、都内で広域的な被害が発生」との想定のもと実施されました。今年度の訓練のポイントは①参集態勢の変更(6km以内の職員追加、訓練者の入れ替え)②役割分担の明確化③職員の安否・参集確認④情報訓練(消防署との連携等)である。

北南建では、4km 圏内で真っ先に事務所に参集した職員 3 名が午前 7 時 45 分に災害対策本部を立ち上げた。午前 9 時 00 分より植木用地第一課長を本部長として運営本部が編成され、参集済・途上の職員や協力業者からの被害状況や被害箇所への報告に基づき、午前 9 時 05 分に現場点検班が出動し、本部と現場との情報連絡訓練が活発に行われた。

被害箇所としては小金井街道、府中街道、三鷹通り、野川等の 5 箇所と後ほど追加した府中街道の多重衝突事故の計 6 箇所が想定された。

その後、午前 10 時 00 分に訓練対象者の入れ替えとともに安部所長が本部長に就かれ、訓練が継続された。防災ボランティア 5 名(高橋和、小島、三沢、新川、池田)は 10 時から訓練に参加し、作戦班の総括と情報連絡を担当した。



北南建班参加会員

訓練を進めている中で、ボランティアとして、別担当や他班との情報伝達方法等について訓練職員に具体的な助言ができたと思います。

最後に、私が気がついた点は、訓練の緊張感

を継続させるためには、入れ替えを暫時交替ではなく、9時50分から10分間で引き継ぎ、10時より一斉に入れ替わって訓練を実施したほうが良いと思った。

北南建班 池田 繁敏

西部公園班の報告

井の頭公園は3つの特徴のある区域に大別され、事務所や井の頭自然文化園を含む御殿山地区、井の頭池を中心とするその周辺地区、それと日産厚生園の跡地等を買収して整備を進めてきた西園地区とからなっている。

例年、参集訓練でのフィールド点検は、膝元の御殿山地区を除いて他の2つの区域を2班に分かれて行われている。今回の訓練での西部公園班(二宮、湯本)の役割は、現場点検B班として井の頭池周辺区域の施設点検及び被災した箇所に対し、公園に避難してきた人々への安全対策を講ずる点をメインとしたものであった。



職員と西部公園班参加会員

8時過ぎの参集訓練の本部立ち上げ後、10時からの第2部の点検に出動するまでの間、本部要員用の休憩所の設営準備として、備蓄品保管庫から簡易ベッド 水及び炊き出し用アルファ米を、休憩所として使用される部屋に運搬し、ベッドの組み立てと休憩コーナーの椅子を配置した。

2部の本部運営訓練からの現場点検作業は、10時から所長の訓示及び指示を受け、井の頭池周辺と公園橋(3橋)の点検を重点的に行い、想定した「七井橋の被害が大きく通行止めに」の状況などを本部に報告する訓練であった。

点検作業スタート前に無線機の受信状態や操作の確認作業にやや戸惑ったが、慣れるに従いスムーズにできるようになり事なきを得た。

11時前、点検作業を完了し本部に帰着して報告を終えた。その後、炊き上がったアルファ米の炊き込みご飯を試食して12時に本部解散となった。帰りがけに、所長室で細岡所長としばし懇談する機会を得た。

西部公園が長年取込んでいる池の浄化は、緊急避難・生活時の水源としての役割を十分果たせる事を期待し、また昨年秋に成功裏に幕を閉じ、約一ヶ月間で107万人の来場をみた「緑化フェア」、例年の「お花見」シーズンにおける多数の来園者に対する、安全を期す誘導対応の経験などを緊急時にも資するであろう、昨今の話題をあとに我々は事務所を後にした。

西部公園班 湯本 勝

報告のあった事務所以外の事務所の報告は参加会員からの写真です

1.一建班



2. 二建班



5. 六建班



3. 三建班



6. 西建班



4. 四建班



7. 南東建班



8. 南西建班



9. 北北建班



10. 東部公園班



建設局との意見交換会の開催

この催しは、建設局が行う有事に備えた訓練や建設局の各種催しへの当協会の支援に対して、都技監から感謝の機会をとのことで、昨年から開催されています。

本年は1月18日に一庁 32 階で開かれ、建設局からは、村尾都技監、野口次長、横溝道路監をはじめ本庁各部長、各事務所・センター長などの方々が出席されました。また、当協会からは、会長以下 80 名の会員が参加しました。

会場には、総勢 105 名の方々が、定刻前にほぼ集まり、新年の挨拶等を交わす会話で溢れました。

会は、古屋総務課長の司会で開会、はじめに村尾都技監は挨拶で、「東日本大震災を挙げるまでもなく、防災・減災への対策は重要課題であることは言うまでもありませんが、成長を支える基盤の整備も怠る訳には参りません。お集まりの先輩諸氏には、ボランティア活動での支援に感謝しますと共に、経験を活かされて局事業に適切なお指導を頂戴したい」とのお話をされました。



村尾都技監挨拶

次に、当協会の沼尻会長より、本開催に対する御礼の挨拶が行われました。

引続いて、野口次長による乾杯の音頭が、声高らかに唱えられると、会場は一気に盛り上がり、

会場全体に局幹部と協会員による昔懐かしい話題などで輪が出来上がりました。



野口次長の乾杯

現役幹部からは、使命の重さなど日頃の苦勞話も出され、相互に貴重な意見交換が交わされました。



懇談会風景



懇談会風景

時間は瞬く間に過ぎ、名残惜しいところでしたが、横溝道路監に、本会を締め上げて頂き閉会となりました。



横溝道路監の締め

最後になりますが、お忙しい中、本会の準備をして頂きました総務課庶務係をはじめとする関係者の皆様に御礼申し上げます。

理事 野村 隆

平成24年度普通救命講習会 (新規、再講習)の開催

昨年の東日本大震災や有名なサッカー選手の突然死等で、AED や心肺蘇生法についての関心が高まっています。

AED は駅や公共施設等、また一般企業にも設置されてきており、順調に増加しています。しかし、設置数は増加してもその使用率は、非常に低いのが現状のようです。

そこで当協会は毎年、普通救命講習会を開催しています。24年度の普通救命講習会は、11月15日(木)の午後1時30分より、また普通救命再講習会は12月11日(火)の午後2時30分より新宿消防署で行われました。

AED や心肺蘇生法は難しいものではなく、ごく短時間の講習会でAEDを適切に使用することができます。多くの協会員の方に受講していただき

いざという非常時に習得した技術を発揮できる講習会は、とても有意義なものだと思います。

担当理事 二宮 克弘

普通救命新規講習会参加報告

普通救命技能講習会が開催されました。その時の様子を報告いたします。

この講習会は、当協会が毎年新宿消防署の協力を得て実施しているもので、家族や友人等が突然倒れバイスタンダー（その場に居合わせた人）になった時、心肺蘇生を含む応急手当を速やかに適切に行えば尊い命を救うことができるとしています。

当日は、8名が参加しました。「胸を圧迫すれば全身に血液を巡らせることができる胸骨圧迫技能」や「細かく震えて血液を送り出せない心臓に電気ショックを与えて正常な状態に戻す機能があるAEDの使用方法」など、殆どの方が未経験で緊張した様子でした。

また、いざという時、あわてることなく冷静に適切な心肺蘇生などの応急手当を本当に身に付けることができるか不安な心持ちでした。しかしながら、講習は講師の力強く落ち着いた指導でしたので、真剣に安心して受講することが出来ました。



初めてのAED使用訓練見る人も真剣
人が倒れるなど救急車を呼ぶような場面に遭遇したとき、救急車が要請を受けてから現場に到

着するまで6～8分間かかるそうです。この間に速やかに応急手当を行えば、心臓や呼吸の止まった人の命が助かる可能性が高くなるということです。

講習は救命の知識や技能を身につけるため、講義と人形を使って心肺蘇生の具体的な手順を学ぶものでした。実践的で大変分かりやすく貴重な体験ができました。

でもいざという時、やはり不安です。実際に勇気を持って行えるかです。

この様な場面に遭遇しないことを願いつつ、救うことのできる命は助けたいと思う複雑な心境で帰途に着きました。講師を始め、関係者の皆さん有難うございました。

四建班 小山 完治

普通救命再講習会参加報告

「普通救命」の再講習会に、当協会員 25 名が参加しました。

けが人や急病人が発生したとき、救急車に引き継ぐまでの「応急手当」をその場にいた者が行うのは各人の重要な責務となります。しかし、このような状況に出会ったとき、「応急手当」のために自身が的確に行動できるかどうかは、はなはだ心もとない。そこで、以前ボランティア協会の呼びかけに参加して三年がたちました。



心肺蘇生の訓練

「応急手当」の技能は、実際の場面に遭遇し、う

ろたえながらも経験することが一番だと思いますが、私は幸か不幸か一度も遭遇することなく過ぎ、人工呼吸用マウスピース(感染防止用)も常に持ち歩いていましたが、使うことなく今回 2 個目をいただきました。



AED 使用訓練

最初に講習を受けると東京消防庁より「救命技能認定証」をもらえますが、この技能を維持向上させるために 3 年以内に再講習を受けることになっています。

3 年間何事もなく過ぎれば、ほとんどの知識は忘れます。私にとってこの再講習はよい機会でした。

当日は寒い日にもかかわらず、心肺蘇生の訓練で汗をかき、忘れていた知識の再確認や AED の機能の再確認など、2 時間半にわたり有意義な時間を過ごさせてもらいました。

万一、今後実際の場面に遭遇した時は、思い出しながらできるだけ頑張りましょう。

六建班 阿久津 勉

後期道路施設点検

各事務所の平成 24 年度後期道路施設点検が、寒さに向かう 11 月中旬から 12 月上旬にかけて、会員と事務所職員の協働で実施されました。参加された会員の方々お疲れ様でした。

実施状況

| 事務所名 | 実施日 | 参加協会員 |
|------|------------|-------|
| 一 建 | 11/29・30 | 3 名 |
| 二 建 | 12/6 | 5 名 |
| 三 建 | 11/12～12/6 | 7 名 |
| 四 建 | 11/9～11/16 | 8 名 |
| 五 建 | 11/27～12/4 | 5 名 |
| 西 建 | 11/16～29 | 5 名 |
| 南東建 | 11/22 | 9 名 |
| 北南建 | 11/19～12/7 | 3 名 |
| 北北建 | 11/29 | 4 名 |
| 計 | | 49 名 |

※第 45 号に掲載した前期道路施設点検実施状況表の中で、北北建班の活動記録(8/1、3 名)が脱落しておりましたので訂正いたします。

協会からのお知らせ

1. 会員継続

年度末になりましたので、平成 25 年度の会員継続を別途お知らせいたします。

2. 新規会員

吉原 一彦(H25.04.01、北北建)

林 銑太郎(H25.04.01、北北建)

宮良 眞(H25.04.01、五 建)

敬称略(入会日、参集事務所)

3. 平成 25 年度総会

東京都建設防災ボランティア協会の総会を平成 25 年 6 月 19 日(水)に開催を予定しております。

詳細は別途お知らせいたします。

発行人:沼尻 敦

発行:東京都建設防災ボランティア協会

所在地:新宿区西新宿 2-7-1

小田急第一生命ビル 20F

公益財団法人 東京都道路整備保全公社内

編集:加藤 基雄、中田 勝司、丸岡 敏夫